



国立大学法人豊橋技術科学大学

平成28年第3回定例記者会見

日時：平成28年6月14日（火）11：00～12：00

場所：豊橋技術科学大学 事務局3階 大会議室

<記者会見項目>

- ① 市民公開講演会 市民との対話から考える
科学技術と自動運転システムの未来 開催
【学長 大西 隆】
(別紙1参照)
- ② 平成28年度 社会人向け実践教育プログラムについて
【副学長(IR担当 / 社会連携担当)/社会連携推進センター長 井上 隆信 教授】
(別紙2参照)
- ③ 豊橋技術科学大学への留学を促進するための海外高校生招へい事業
「Toyohashi Tech - High School Students Invitation Program 2016」を開催
【国際交流センター長 大門 裕之 教授】
(別紙3参照)
- ④ あなたのアイデアでまちを元気に
- 豊橋三大学学生まちづくりハッカソン -
【豊橋三大学連携まちづくり委員会 情報・知能工学系 大村 廉 講師
建築・都市システム学系 辛島 一樹 助教】
(別紙4参照)
- ⑤ ノーベル化学賞を受賞された鈴木章氏の講演会を
学生が企画・運営しながら開催します
【リーディング大学院教育推進機構】
(別紙5参照)
- ⑥ 第39回 日本神経科学大会（7月20日～22日、パシフィコ横浜）に出展
- “豊橋プローブ”の供給開始-
【電気・電子情報工学系 河野 剛士 准教授
エレクトロニクス先端融合研究所 鯉田 孝和准教授】
(別紙6参照)
- ⑦ 第12回豊橋技術科学大学武道部演武会を開催
【豊橋技術科学大学武道部】
(別紙7参照)

<本件連絡先>

総務課広報係 萩平・高柳・梅藤

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509

科学技術の光と影

市民との対話から考える 科学技術と自動運転システムの未来

日時 2016.8.2(火) 13:30~17:00

会場 ホテルアソシア豊橋

〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿(豊橋駅直結)

PROGRAM

13:30 開会挨拶

川合 真紀 日本学術会議中部地区会議委員・第三部幹事・
自然科学研究機構副機構長・分子科学研究所長

13:40 挨拶

大西 隆 豊橋技術科学大学長
日本学術会議会長

13:50 基調講演 基礎科学研究を支えるテクノロジー
— 宇宙線関連研究を例に —

梶田 隆章 東京大学宇宙線研究所長・教授/2015年ノーベル物理学賞

14:35 講演1 自動運転技術による新たなモビリティ社会の実現
— 知能化するクルマと人との進化した協調にむけて —

加藤 光久 トヨタ自動車株式会社 代表取締役副社長

15:05 講演2 機械に責任を持たせられるか?
— 自動車、ロボット、ブレイン・マシン インターフェース —

下條 信輔 California Institute of Technology Professor/
豊橋技術科学大学特別招聘教授

15:45 パネルディスカッション：科学技術の光と影

■ パネリスト

梶田 隆章 下條 信輔
加藤 光久 大西 隆

■ コーディネーター

土井 美和子 日本学術会議第三部副部長/情報通信研究機構監事

17:00 閉会挨拶

相原 博昭 日本学術会議第三部長/
東京大学副学長・大学院理学系研究科教授

主催：豊橋技術科学大学、日本学術会議第三部

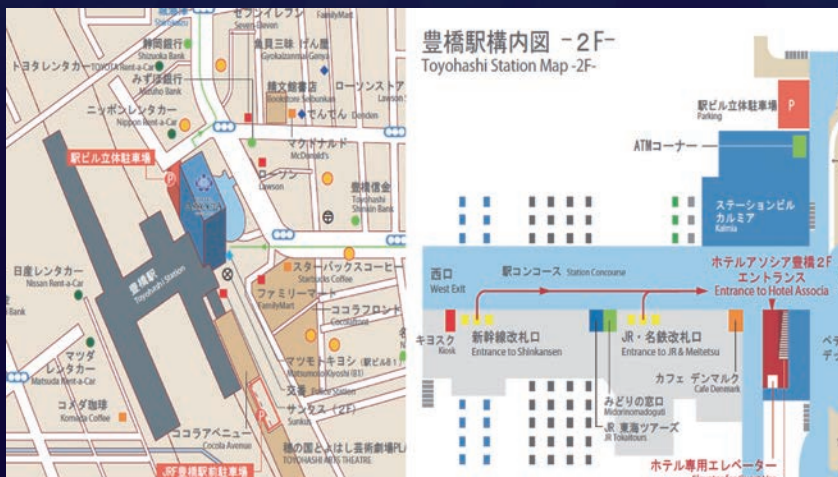
共催：日本学術会議中部地区会議

協賛：公益財団法人大林財団

後援：公益財団法人日本学術協力財団、

愛知県教育委員会、豊橋市、豊橋商工会議所

座席数に限りがありますので、受講を希望される方は裏面に記載の方法
でお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。



かじた たかあき
梶田 隆章 東京大学宇宙線研究所長、教授

1959年生まれ。物理学者。東京大学特別栄誉教授。岐阜県飛騨市神岡町の山中にある実験装置「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を使った実験に参加。ニュートリノに質量があることを、1998年の国際会議で発表した。「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、2015年ノーベル物理学賞を受賞した。

かとう みつひさ
加藤 光久 トヨタ自動車株式会社 代表取締役副社長

1953年生まれ。1975年北海道大学工学部を卒業し、トヨタ自動車工業（現トヨタ自動車）入社。「クラウン」のチーフエンジニアを務めたほか、常務役員、専務役員などを経て2012年より現職、現在に至る。技術のトップとして、もっといいクルマづくりの中核をなすTNGA（Toyota New Global Architecture）を新型プリウスから世に送り出したほか、未来創生センターの長として産官学連携を推進している。

しもじょう しんすけ
下條 信輔 California Institute of Technology Professor、豊橋技術科学大学特別招聘教授

1955年生まれ。専門は知覚心理学、視覚科学、認知神経科学。1985年マサチューセッツ工科大学大学院博士課程修了、Ph.D.（実験心理学）。1986年東京大学大学院人文科学研究科心理学博士課程修了。1989年より東京大学、1997年よりカリフォルニア工科大学で教鞭をとる。2015年より豊橋技術科学大学特別招聘教授として、国際共同研究ラボ「こころの認知脳科学研究施設」を開設し、同大との共同研究をすすめる。

おおにし たかし
大西 隆 豊橋技術科学大学長、日本学術会議会長

1948年生まれ。専門は都市計画、国土計画。1980年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（都市工学専攻）工学博士。2014年より豊橋技術科学大学長を務める。国内約84万人の科学者を代表する機関である日本学術会議会長を2011年より務め、内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員、一般社団法人国立大学協会副会長も兼務する。

どい みわこ
土井 美和子 日本学術会議第三部副部長、情報通信研究機構監事

1954年生まれ。専門はヒューマンインターフェース。1979年東京芝浦電気株式会社（現 株式会社東芝）入社、2005年株式会社東芝研究開発センター技監、2008年株式会社東芝研究開発センター首席技監、2014年より情報通信研究機構監事。

お申し込みは、ホームページ、E-mail、FAXまたは電話で。▶ URL <https://www.tut.ac.jp/3bukai>

お申し込み・
お問い合わせ先

国立大学法人豊橋技術科学大学 総務課
〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

E-mail 3bukai@office.tut.ac.jp

FAX 0532-44-6509

TEL 0532-44-6504（受付時間 平日9:00 - 17:00）

FAXでのお申し込み用紙

必要事項ご記入の上、右記番号までFAXしてください。FAX: 0532-44-6509

ご氏名（フリガナ）	ご連絡先電話番号
	FAX番号
	E-mail
ご所属・職名	



国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release

平成28年6月14日

平成28年度 社会人向け実践教育プログラムについて

平成28年度からの第三期中期目標・中期計画において、教育研究の質の向上とともに大学の有する知や研究成果を広く活用し、豊かで持続可能な「地域の未来」創生に貢献することを目的として、社会人人材育成施策、青少年の理工系人材の育成などの社会貢献事業を推進する社会連携推進センターを設置致しました。

特に、産業構造の転換や労働人口の減少を背景として、社会人を対象としたイノベーション人材育成が喫緊の課題となってきました。社会連携推進センターでは、高度技術者育成を進める社会人向けの実践教育プログラムについて、既存のプログラムの継続・拡充も含めて、メニューの刷新を図ることになりました。

今回、「産業技術科学分野」と「地域社会基盤分野」の2つの区分でプログラムの公募を行い、平成28年度は10件、平成29年度は1件のプログラムを選定し、今後の周知活動とプログラム実施を進めて参ります。

「平成28年度・平成29年度 社会人向け実践教育プログラム」について

事業概要

社会連携推進センターとして、高度技術者育成を進める「社会人向け実践教育プログラム」の学内公募を実施する。



期待される成果

社会人向けの実践教育プログラムの実施とメニュー拡充と継続実施を通じて、**産業活性化と地域課題解決への貢献**を進める

社会人向け実践教育プログラム公募

期間：平成28年度または29年度より開始
事業主体：本学 各系 研究所 各センター
実施責任者：本学教員
実施担当：本学教職員など
募集区分：**A)産業技術科学分野**
B)地域社会基盤分野

推進件数：10数件（本年度または次年度より実施、その後継続予定のプログラム 各機関で複数の応募可）
28年度配分額：30～200万円/年 ※配分の基準としては、プログラムの開講時間及び、必要経費等を勘案

●プログラムの発展

文部科学省が毎年認定する「職業実践力育成プログラム（B P）」について、既に平成28年度より実施予定として認可された1テーマに加えて、更に開発、認定を目標とするなど、プログラムの発展・拡充を図る。

本件に関する連絡先

担当：研究支援課副課長（小柳津） 問合せ（上田） TEL:0532-81-5188

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506



【社会連携推進センター】

平成28年度実施「社会人向け実践教育プログラム」

産業技術科学分野

集積回路技術講習会

電気・電子情報工学系:澤田教授

n-MOS集積回路の制作と集積回路設計の基礎 ～各自のSiウェハでICの作製と計測・評価を行う

期日:7月25～29日(5日間:45時間) 募集人員:10名 学部レベル

次世代シーケンサ解析コース

環境・生命工学系、EIIRIS:広瀬助教、中鉢准教授

環境中の微生物の種類と数を解析してみよう ～微生物群集構造解析入門～

期日:9月を予定(3日間:20時間) 募集人員:10名 学部レベル

技術者養成研修「機械加工技術講座」

教育研究基盤センター:滝川教授、小林准教授

ものづくりの基礎から最先端の機械加工技術についての講義と実習

期日:8月8日(1日間:5時間) 募集人員:20名 学部レベル

技術者養成研修「材料分析技術講座」

教育研究基盤センター:滝川教授、中野教授

ナノテクノロジーのための先端分析機器を用いた無機・有機材料の構造解析技術についての講義と実習

期日:9月を予定(1日間:3.5時間) 募集人員:10名 学部レベル

拡充

技術者養成研修「3Dものづくり技術講座」

教育研究基盤センター:滝川教授、足立教授、小林准教授

コンピュータによる構造設計・部品設計(3D CAD)、解析(CAE)から3Dプリンタ等による試作(CAM)までの実習

期日:9月～12月を予定(3日間:16時間) 募集人員:10名 学部レベル

新規

計算技術科学実践教育プログラム

電気・電子系、情報・知能系、環境・生命系、情報メディア基盤センター:後藤仁志准教授

最先端シミュレーション技術の基礎から実践、より高度なプログラミング・スキルを学べるイノベーション創出人材の養成講座

期日:9月～12月を予定 募集人員:10名程度 修士レベル

分子工学技術者育成コース : H29年度開講予定

環境・生命工学系:岩佐教授

分子工学、生命・環境工学の基礎講義と分析・解析装置を用いた実習

期日:平成29年9月～10月末を予定(45時間) 募集人員:(10名) 修士レベル

地域社会基盤分野

拡充

東三河地域の防災力向上のための地域連携力強化による人材養成プログラム

安全安心地域共創リサーチセンター:斉藤教授

防災・減災のメカニズム学習、実践力養成学習、地域課題探求を通じた防災人材の養成

期日:10月上旬～11月下旬(20回:48時間) 募集人員:20名 修士レベル

BP

最先端植物工場マネージャー育成プログラム

先端農業・バイオリサーチセンター:山内特任准教授

最先端施設園芸である植物工場の管理、経営ができるIT農業人材の養成

期日:12月～翌々年3月(26回:495時間) 募集人員:10名 修士レベル

新規

IT食農先導士養成プログラム(土地利用型IT先端農業コース)

先端農業・バイオリサーチセンター:山内特任准教授

地域農業の担い手が、定着可能な土地利用型農業の管理、経営ができるIT農業人材の養成

期日:12月～翌々年3月(20回:405時間) 募集人員:5名 学部レベル

東海地域6次産業化推進人材育成プログラム

先端農業・バイオリサーチセンター:山内特任准教授

農業生産や加工、流通・販売分野へ新規参入をめざし、そのビジネス設計ができる人材の養成

期日:10月～翌年2月下旬(12回:107時間) 募集人員:20名 学部レベル

※BP:文部科学省「職業実践力育成プログラム」認定

※講習料については別途案内します

技術を究め、技術を創る

国立大学法人 豊橋技術科学大学

豊橋技術科学大学 「社会人向け実践教育プログラム」 概要

1. プログラム名

技術者養成研修（3D ものづくり） <<拡充>>

2. 事業主体

教育研究基盤センター

3. プログラムの区分

■産業技術科学分野

4. 事業概要

本講座は地域企業技術者・研究者向けに、ものづくりの基本要素である設計・モデリング・試作・プロセス最適化・生産過程までをカバーする実践的な研修プログラムです。

今年度は、昨年のコンピュータによる構造設計・部品設計（3D CAD）、構造解析（CAE）研修に加えて、実際に 3D プリンタなどの加工機を使ってものづくり（CAM）ができるよう、昨年度 2 日間だったものを 3 日間での実施とします。

5. 実施計画

① 実施時間数 15.75H（予定）

② 実施期間 9 月～12 月（期日未定）、1 回（3 日間）

③ 時間割（予定）

【1 日目】 3D CAD による設計・製図・解析の概論(講義)(75 分) Solidworks による CAD 演習(210 分)

【2 日目】 有限要素解析概論(講義)(90 分) Solidworks による CAE (有限要素解析)(演習)(120 分)
CAD データから CAM への概要、3D プリンタの概要(講義)(30 分) 3D プリンタによる製作 概要(演習)(60 分)

【3 日目】 3D プリンタまたは NC 加工機による製作演習(300 分)

6. 概念図



豊橋技術科学大学 「社会人向け実践教育プログラム」概要

1. プログラム名

計算技術科学実践教育プログラム 《新規》

2. 事業主体

電気・電子工学系、情報・知能工学系、環境・生命工学系、情報メディア基盤センター

3. プログラムの区分

■産業技術科学分野

4. 事業概要

豊橋技術科学大学では、平成24年度より「次世代シミュレーション技術者教育プログラム」を開始し、我が国の産業の強化・活性化に欠かせない次世代シミュレーション技術を「使いこなせる」、「開発できる」人材を育成してきました。今回の新たなプログラムでは、これまで開発してきた教育カリキュラムや教材開発ノウハウを最大限に活用し、大学院生（修士・博士）と社会人教育のための実践的な人材育成に取り組みます。

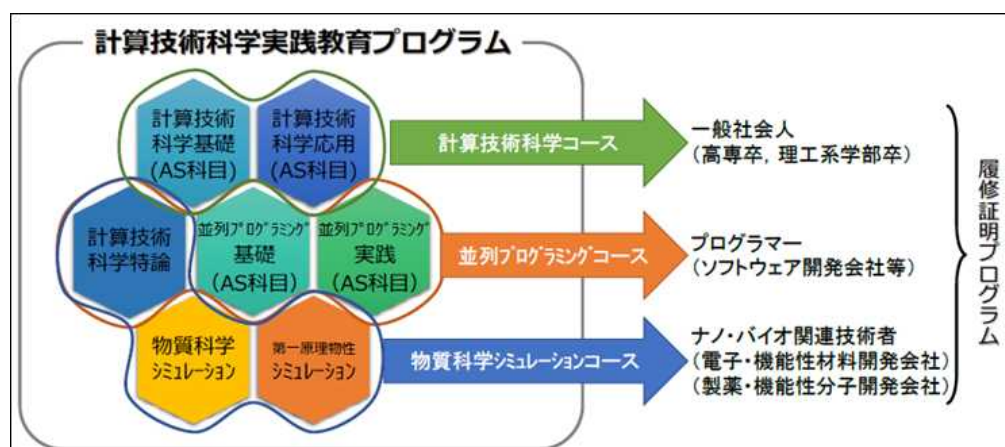
第一フェーズでは、本学が得意とするナノバイオ研究に必要な「計算物質科学」と、ビッグデータ科学の研究にも要求される「並列プログラミング」を中心に、教室講義とe-ラーニングによって基礎技術を習得し、研修（講習会）や課題研究を通じて実践応用まで学びます。

5. 実施計画

第一フェーズ前半（平成28年度）は、これまで行ってきた「次世代シミュレーション技術者教育プログラム」の一部を社会人向けに実験的に開講し、第一フェーズ後半（平成29年度）は「履修証明プログラム」の要件を満たすように設計された指定科目を受講する総合コースを開講します。下記は平成29年度開講予定のカリキュラム。

- ① 実施時間数 全144H（12単位相当）
- ② 実施期間（4月～3月、全24回：e-ラーニングを含む）
- ③ 計算技術科学（基礎：12H、応用：12H、特論：24H）、並列プログラミング（基礎：24H、実践：24H）
物質科学シミュレーション（24H）、他（科目名、時間内訳は予定）

6. 概念図



豊橋技術科学大学 「社会人向け実践教育プログラム」概要

1. プログラム名

東三河地域の防災力向上のための地域連携強化による人材養成プログラム ≪拡充≫

2. 事業主体

安全安心地域共創リサーチセンター

3. プログラムの区分

■地域社会基盤分野

4. 事業概要

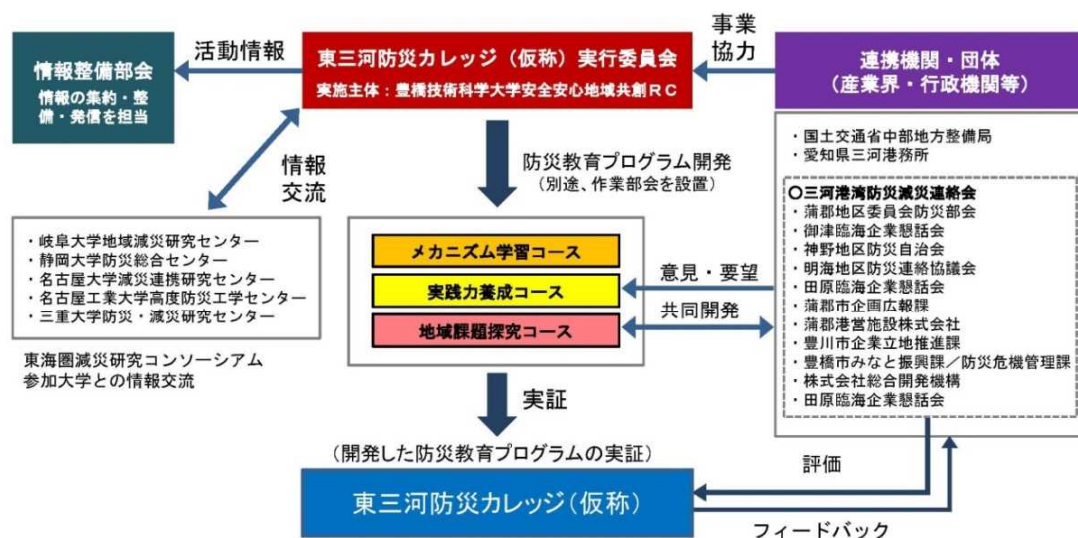
南海トラフ巨大地震による被害を最小限に抑えるため、港湾エリアに立地する企業を中心とした東三河地域の防災対策を促進する手法として、平時から主体的に防災対策に取り組み、発災時にも状況に応じた適切な判断と行動がとれる防災リーダーを養成するための教育プログラムです。本事業では、平成27年度までに安全安心地域共創リサーチセンターの教員を中心に開発してきた教育プログラムを元に、地元企業団体、自治体等との連携を強化することにより、より効果的な教育プログラムを開発し提供します。

5. 実施計画

- ① 実施時間数 48H (予定)
- ② 実施期間 (10月上旬～11月下旬、20回) 下記3コースから選択して応募可能なプログラムとする予定。
- ③ メカニズム学習コース16時間、実践力養成コース16時間、地域課題探究コース16時間

6. 概念図

プログラム名：東三河防災カレッジ (仮称)



・開発する防災教育プログラムのうち「実践力養成コース」と「地域課題探究コース」については、連携機関・団体との調整の上、平成28年度中に基盤を整え（一部講座を先行して開発）、平成29年度より本格的に開発を進める。

豊橋技術科学大学 「社会人向け実践教育プログラム」概要

1. プログラム名

IT 食農先導士養成プログラム（土地利用型 IT 先端農業コース） 《新規》

2. 事業主体

先端農業・バイオリサーチセンター

3. プログラムの区分

■地域社会基盤分野

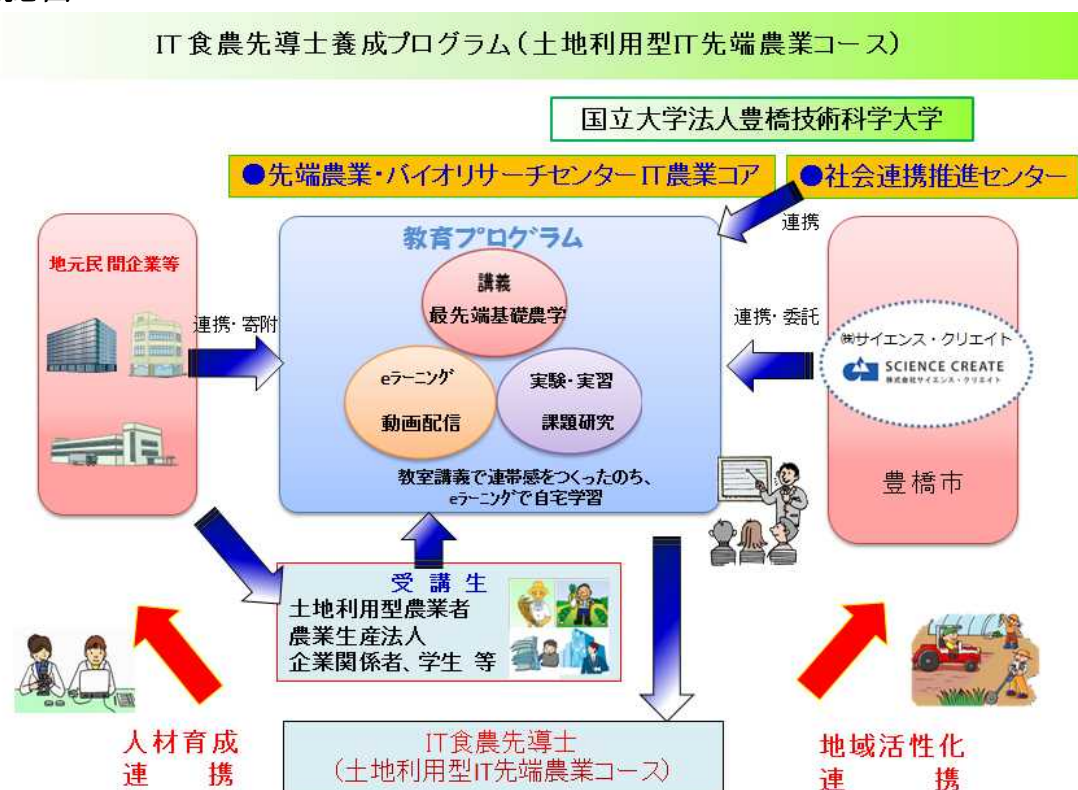
4. 事業概要

豊橋技術科学大学等において、これまでに蓄積した技術科学的な成果を踏まえて、土地利用型農業において将来地域の担い手となりうる若者等が定着可能な土地利用型農業の管理、経営ができる IT 農業人材を育成し、農業と地域の活性化を図ります。

5. 実施計画

- ① 実施時間数 405H（26 単位相当）
- ② 募集期間 9 月 1 日～10 月 20 日
- ③ 実施期間（12 月～翌々年3月、20 回）
- ④ 科目（教室講義: 先端基礎農学特論 75 時間、e-ラーニング: IT 農業管理学特論 60 時間、IT 農業経営学特論 60 時間、先端 IT 農業研修 30 時間、課題解決技術科学研究 180 時間）

6. 概念図





国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成28年6月14日

豊橋技術科学大学への留学を促進するための海外高校生招へい事業 「Toyohashi Tech - High School Students Invitation Program 2016」を開催

本学はスーパーグローバル大学創成支援事業の一環として2017年4月に「グローバルアーキテクト養成コース」を開始します。本コースの一翼を担う若者の候補として、マレーシア、ベトナム、モンゴル、インドネシア、タイの各国内トップレベルの9つの高校から、日本の工学系大学への留学に特に関心のある高校生25名を招へいし、本学の勉学・研究の内容、留学時の生活、卒業・終了後の進路等に関する情報の提供に加え、日本の文化・技術・産業を紹介し、日本留学の魅力を伝えます。

本プログラムは取材可能ですので、希望する内容についてご連絡ください。

<研究経緯・研究組織・研究内容・今後の展開>

プログラム日程：平成28年6月27日（月）～7月2日（土）

開催地：豊橋技術科学大学及び豊橋市周辺

概要：

<本学での活動>

- ◆グローバルアーキテクトコースの紹介
- ◆各課程（機械、電気・電子、情報・知能、環境・生命、建築・都市システム）の専門の紹介
- ◆研究室での体験実習、特別講義の受講
- ◆本学内にある最先端の科学技術研究施設の見学
- ◆基礎的な日本語教育（サバイバル日本語）
- ◆本学の留学生との意見交換会

<学外での活動>

- ◆トヨタ産業技術記念館の見学
- ◆豊橋市内の史跡見学
- ◆豊橋市内の高校生との交流

※詳細スケジュールは別紙を参照ください。

本件に関する連絡先

担当：国際課 留学生係 福村・梁瀬 TEL:0532-44-6577

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

Toyohashi Tech – High School Students Invitation Program 2016

実施期間:平成28年6月26日(日)～平成28年7月3日(土)

海外参加大学・受入者数:

新モンゴル高校(モンゴル)2名、レホンフォン高校(ベトナム)2名、ジットシン高校(マレーシア)4名、チュンリン高校パターワース校(マレーシア)7名、チュンリン高校ペナン校(マレーシア)2名、サムセン・ウィッタヤライ校(タイ)2名、トリアム・ウドム・スクサ校(タイ)2名、国立ジャカルタ第8高校(インドネシア)2名、国立バンドゥン第3高校(インドネシア)2名、引率教員各校1名…計34名

趣旨・目的:ベトナム、インドネシア、タイ、マレーシア、モンゴルのトップレベルの高校から、日本への留学を検討している高校生25名および引率教員9名を招へいする。日本の大学の教育システム、講義や研究の内容、日本の文化や生活環境、卒業・修了後の進路等に関する情報を伝え、日本への留学と日本の科学技術への理解を促すことを主な目的とする。

as of June 3rd

Date	Time	Activities	place	Details and objectives
H28.6.26 (日)		各地→ 名古屋(中部国際空港)Pick Up →豊橋 ホテルチェックイン	中部国際空港→ 豊橋	
H28.6.27 (月)	8:10	ホテルロビー集合	ニュー・東洋ホテル1	
	8:15	ホテル発		
	8:45	大学着	事務局玄関前	
	9:00～9:30	開講式、オリエンテーション		全体スケジュール説明、事務連絡等
	9:30～10:20	大学紹介	大会議室	本学学生による日本の大学教育のシステムと本学の紹介
	10:30～12:00	高校紹介		招へい高校から各高校を紹介してもらい、相互の交流を深める。
	12:00～13:10	昼食	学食	
	13:20	IGNITE棟前集合	IGNITE棟	
	13:30～15:50	キャンパスツアー(最先端施設)	EDIRIS(VBL)・植物工場・学生宿舎	本学の最先端の研究施設を見学する。
	16:00～17:00	留学生との懇談、旅費の精算	IGNITE棟	
H28.6.28 (火)	17:40～19:10	歓迎会	ひばりラウンジ	招へい高校生・引率教員・本学留学生・本学教職員の交流を深め、相互理解を図る。
	19:45	大学(事務局玄関前)発(ホテルへ)	事務局玄関前	
	8:40	ホテルロビー集合	ニュー・東洋ホテル1	
	8:45	ホテル発		
	9:15	大学着	事務局玄関前	
	9:30～10:20	グローバルアーキテクトコースの紹介	TBA	SGU担当教員
	10:30～12:00	機械工学系の説明・研究室説明	TBA	各課程の特徴、就職先、研究室のシステムについて説明・見学
	12:00～13:10	昼食	学食	
	13:20	IGNITE棟前集合	IGNITE棟	
	13:30～14:30	サバイバル日本語	TBA	日本にいる期間に最低限必要な日本語を学ぶ。
H26.6.29 (水)	14:40～16:30	電気・電子情報工学系の説明・研究室説明	IGNITE 105	各課程の特徴、就職先、研究室のシステムについて説明・見学
	17:00	大学(事務局玄関前)発(ホテルへ)	事務局玄関前	
	9:40	ホテルロビー集合	ニュー・東洋ホテル1	
	9:45	ホテル発		
	10:15	大学着	事務局玄関前	
	10:30～12:00	知識情報工学系の説明・研究室説明	TBA	各課程の特徴、就職先、研究室のシステムについて説明・見学
	12:00～13:00	昼食	学食	
	13:00～14:30	環境・生命工学系の説明・研究室説明	TBA	各課程の特徴、就職先、研究室のシステムについて説明・見学
	14:40～16:30	建築・都市システム学系の説明・研究室説明	TBA	各課程の特徴、就職先、研究室のシステムについて説明・見学
	17:00～18:30	クラブ体験	TBA	クラブ:未定
H28.6.30 (木)	19:00	大学(事務局玄関前)発(ホテルへ)	事務局玄関前	
	8:00	ホテルロビー集合	ニュー・東洋ホテル1	
	8:10	ホテル発		
	8:40	大学着	事務局玄関前	
	8:50～10:20	模擬講義の受講	TBA	
	10:30～12:00	留学生との意見交換会	TBA	
	12:00～13:00	昼食	学食	
	13:00	大学発	事務局玄関前	
	13:30	二川宿本陣着		
	13:30～15:30	二川宿本陣見学	二川宿本陣	
H28.7.1 (金)	15:30	二川宿本陣発		
	16:00	豊橋公園着		
	16:00～17:00	豊橋公園見学	豊橋公園	
	17:00	豊橋公園にて解散		
	9:05	ホテルロビー集合	ニュー・東洋ホテル1	チェックアウト
	9:10	ホテル発		
	9:50	大学着	事務局玄関前	
	10:30～11:30	閉校式	TBA	修了証書授与
	11:30～13:00	昼食	学食	
	13:00	大学発	事務局玄関前	
H28.7.2 (土)	13:30	豊橋南高校着		
	13:30～15:30	豊橋南高校との交流会	豊橋南高校	
	15:30	豊橋南高校発		
	16:00	ニュー・東洋ホテル1着		
	16:15	ニュー・東洋ホテル1発	ニュー・東洋ホテル1	荷物ピックアップ
	18:00	東横イン中部国際空港着	東横イン中部国際空港	
	8:30	東横イン中部国際空港ロビー集合	東横イン中部国際空港	
	9:07	中部国際空港駅発	中部国際空港	
	9:43	栄生着	栄生	
	10:00～12:00	トヨタ産業技術記念館見学	トヨタ産業技術記念館	日本の最先端の科学技術への理解と関心を深める。
H28.7.3 (日)	12:00	トヨタ産業技術記念館発		
	12:15	栄生着	栄生	
	12:30	名古屋駅解散(自由行動、各自ホテルへ)		

もっと賑わい
が欲しい...

豊橋を観光した
いけど...

昼の賑わいが
増えた！

便利なアプリが
ある！
行ってみよう！

歩車分離が改善
された！

地震が起こった
らどうすれば...

自転車マナー
が悪い....

防災アプリが
ある！これを使
えば安心だ！

あなたのアイデアでまちを元気に - 3大学連携まちづくりハッカソン -

参加者募集

募集対象：愛知大学、豊橋創造大学、
豊橋技術科学大学の学生、
もしくは、豊橋市在住の大学生

「豊橋をこうしたい！」という意見をもった、
まちづくりに関心のある学生
興味や意欲さえあれば知識・技術は関係なし！

参加するとこんな良いことが！！

- いろいろな分野に専門を持った人達が集まり、「未来の豊橋」を作るイベントです。あなたの知識・アイデアをまちづくりに生かす事ができます。
- 大学を超えて同じ意識をもつ仲間と出会えます
- 豪華な賞を用意しています
- アイデアが起業に繋がるようにサポートします

ハッカソンとは？

まちに課題を感じている方やまちづくりに関心のある学生、技術者など多種・多才な参加者がまちの課題とそれを改善する方法を、様々な視点でアイデアを出し、融合していきながら形作っていく、地域課題解決の新しい手法です。

イベントスケジュール

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ・第1回アイデアソン&IT 入門セミナー | 6月18日（土） |
| ・第2回アイデアソン&IT セミナー | 7月2日（土） |
| ・第1回ハッカソン（中間報告会） | 9月3日（土） |
| ・第2回ハッカソン（最終報告会） | 9月24日（土） |
| ・東三河ビジネスプランコンテストへの応募サポート | 10月上旬～中旬（参加者で調整） |

※開催場所については左記のホームページをご確認ください
※アイデアソン／ハッカソンはそれぞれ 13:00～17:00を予定
※きるだけ5回を通してご参加ください。

応募方法・問い合わせ

ホームページ（左）
<http://T3UHack.usl.cs.tut.ac.jp>
参加登録（右）
<http://bit.ly/1TX7ZpY>



T3UHOoffice@usl.cs.tut.ac.jp
（豊橋三大学連携まちづくり委員会事務局）

主催 豊橋三大学連携まちづくり委員会
後援 豊橋商工会議所 豊橋市（平成28年度豊橋市大学連携創生事業費補助金）
協力 (株)マップクエスト (株)ウェブインパクト Code for MIKAWA
メーカーズ・ラボとよはし (株)サイエンス・クリエイト



平成28年6月14日

**ノーベル化学賞を受賞された鈴木章氏の講演会を
学生が企画・運営しながら開催します**

<概要>

本学は文部科学省 博士課程教育リーディングプログラムに採択されており、平成26年度より様々な活動を行っています。本プログラムは私たちの脳を切り口として機械工学、情報工学、社会・環境工学、生命工学などの研究分野をさらに深化させられる人材の育成を目的としています。これまでに本プログラムの履修生は浜松医科大学での研究活動や応用脳科学コンソーシアムなどを通じて脳科学について学ぶだけでなく、国際的な活動として、豊橋技術科学大学ペナン校を拠点としたマレーシアの先住民の生活改善に取り組んできました。

本学は「開発リーダー特論」や「Prestige lectures」として様々な分野のトップの方々をお招きして講演会を開催してきましたが、これらの講演会の企画・運営は従来、本学の教職員が担当していました。今年度からは、本プログラム履修生の希望で、**学生が主体となって講演を企画し、その運営を行うこととなりました。そして、今回はノーベル化学賞を受賞された鈴木章氏が本学へお越しいただけることとなりました。**

<詳細>

鈴木章氏によるご講演と併せて、リーディングプログラム履修生によるポスターセッションを開催します。(日時等は別紙参照)

【鈴木章氏によるご講演】

今回はノーベル化学賞の受賞に至った経緯などについて主にご講演頂きます。本講演の直前に本学教員から、鈴木章氏の研究について簡単に紹介させて頂く予定です。そのため、鈴木先生の経験談だけでなくノーベル化学賞を受賞した化学についても、ご理解頂けると思います。また、本講演終了後はリーディングプログラム履修生と鈴木先生によるスーパーリーダー塾を開催します(一般非公開)。これは講演会では質問できなかった様々な疑問や人生経験を鈴木章氏に直接お尋ねする、というこれまで本学の講演会後に行われてきたものです。

【リーディングプログラム履修生によるポスターセッションおよび活動報告】

鈴木章氏の講演会に先立って、**リーディングプログラム履修生によるポスターセッション**を行います。本セッションでは**学生の研究成果や前述のマレーシアでの課題解決型プログラムなど**についても説明させていただきます(一般公開)。

本件に関する連絡先

担当：リーディング大学院教育推進機構 TEL:0532-44-1028

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL:0532-44-6506

ノーベル化学賞を受賞された 鈴木章氏による講演会について

定例記者会見 2016年6月14日

No. 1

鈴木章氏による講演会について

豊橋技術科学大学第9回プレステージレクチャーズ
博士課程教育リーディングプログラム
「ブレイン情報アーキテクトの育成」シンポジウム

平成28年度バトンゾーン特論 第1講義
ノーベル化学賞受賞
鈴木章氏 特別講演会

聴講
自由

◎日時
平成28年6月30日(木)

◎場所
豊橋技術科学大学 講義棟 A-101

学生達が多くのものを学び、感じ取り、
将来への夢や志を育む貴重な機会として、
「時代を切りひらいてきた」先駆的研究者や
先進的経営者・起業家の方々による
豊富な経験と深い見解に基づく、
豊かにもった特別講演をお届けします。

◎タイムスケジュール

13:00~13:30	豊橋技術科学大学 教授 プログラムコーディネーター 中内 茂樹
13:30~14:40	リーディングプログラム 履修生の研究紹介
15:00~16:10	バトンゾーン特論講演 鈴木 章 氏

講師
北海道大学 名誉教授
2010年
ノーベル化学賞受賞
鈴木 章 氏

◎後援——豊橋商工会議所・社会人キャリアアップ連携協議会
豊橋技術科学大学
Prestige Lectures
プレステージ レクチャーズ

◎本件お問い合わせ先——
豊橋技術科学大学 リーディング大学院教育推進機構
TEL:0532-44-1028
T441-8580 認知連携センター天竺野学書庫・E1-1
Mail:reading@office.tokai.ac.jp http://brain.tokai.ac.jp

豊橋技術科学大学

- ▶ プログラムコーディネーター 中内茂樹教授
によるリーディングプログラムの紹介
- ▶ リーディングプログラム履修生による
研究成果および活動報告（ポスター形式）
- ▶ 鈴木章氏による講演会
【講演タイトル】
「有機ホウ素化合物を用いるクロス・
カップリング反応：C-C結合の容易な合成法」
【講演内容】
ノーベル賞の受賞に至った経緯やその経験
についての講演をお願いしています。
- ▶ スーパーリーダー塾（一般非公開）
本プログラム履修生が講演会では質問できな
かった様々な疑問や人生経験を鈴木先生に直
接お尋ねする会です。

No. 2

博士課程教育リーディングプログラムとは

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。
「日本学術振興会HPより」

全国 62 プログラム

- オールラウンダー型 7 プログラム
- 複合領域型 40 プログラム
- オンリーワン型 15 プログラム

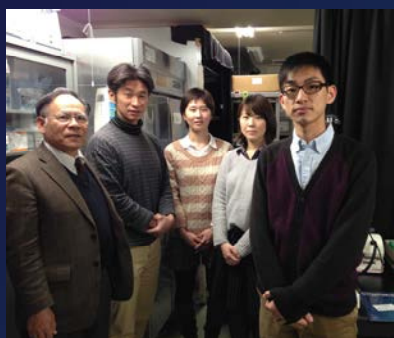
豊橋技術科学大学 リーディングプログラム

「超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アーキテクトの育成」

- ▶ 私たちの脳を切り口として機械工学，情報工学，社会・環境工学，生命工学などの研究分野をさらに深化させられる人材の育成を目的とする。

No. 3

リーディングプログラム活動紹介①



浜松医科大学との協働教育

浜松医科大学での研究や講義の受講

神経生理学研究室の皆さんと履修生（左）

浜松医科大における講義「薬理学」の様子（右）



異分野・産業界との協働教育

応用脳科学コンソーシアム

様々な教授や先生の講義を受講することで脳科学に関する知見を深める。

博士後期課程実務訓練

脳科学の産業応用に関心のある国内外の企業などにおいてインターンシップを行う（半年間）。

リーディングプログラム活動紹介②

グローバルサマースクール : マレーシア科学大学との協働開催



豊橋技術科学大学ペナン校



先住民の方々との交流の様子



先住民の生活改善方法についてディスカッションを行いました。

No. 5

学生によるバトンゾーン特論（講演会）の運営

従来

講師の選択:

大学教員

講演者への依頼:

大学教員

企画・運営:

大学スタッフ

新講義

リーディング学生

リーディング学生

リーディング学生

- 平成28年6月30日の講師 -



鈴木 章 氏

北海道大学名誉教授

Nobel Prize in Chemistry (2010)

"for palladium-catalyzed cross couplings in organic synthesis"



- 6月16日の講師 -



中筋 憲一 氏

消せるボールペン
“フリクションボール”
の開発者

- 7月14日の講師 -



一杉 裕志 氏

ヒト型AIの研究者

No. 6

豊橋技術科学大学第9回プレステージレクチャーズ
博士課程教育リーディングプログラム
「ブレイン情報アーキテクトの育成」シンポジウム

40周年



—世界に開かれた技術科学—

平成28年度バトンゾーン特論 第1講義

ノーベル化学賞受賞 鈴木章氏 特別講演会

聴講
自由

○日時

平成28年6月30日 木

○場所

豊橋技術科学大学 講義棟 A-101

学生達が多くものを学び、感じ取り、
将来への夢や志を育む貴重な機会として、
「時代を切りひらいてきた」先駆的研究者や
先進的経営者・起業家の方々による
豊富な経験と深い見解に基づく、
熱のこもった特別講演をお届けします。

○タイムスケジュール

13:00~13:30	豊橋技術科学大学 教授 プログラムコーディネーター 中内 茂樹
13:30~14:40	リーディングプログラム 履修生の研究紹介
15:00~16:10	バトンゾーン特論講義 鈴木 章 氏



講師
北海道大学 名誉教授
2010年
ノーベル化学賞受賞

鈴木 章 氏

○後援——豊橋商工会議所・社会人キャリアアップ連携協議会



豊橋技術科学大学

Prestige Lectures
プレステージ レクチャーズ



技術を究め、技術を創る

国立大学法人

豊橋技術科学大学

○本件お問い合わせ先

豊橋技術科学大学 リーディング大学院教育推進機構

TEL:0532-44-1028

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘1-1

Mail:leading@office.tut.ac.jp http://brain.tut.ac.jp



ブレイン情報アーキテクト
豊橋技術科学大学

国立大学法人豊橋技術科学大学

第39回 日本神経科学大会に出展 (7月20日～22日、パシフィコ横浜)

～“豊橋プローブ”の供給開始～

河野 剛士¹、鯉田 孝和²

¹電気・電子情報工学系 准教授

²エレクトロニクス先端融合研究所 (EIIRIS)、情報・知能工学系 准教授

Toyohashi Probe - Type “S” -



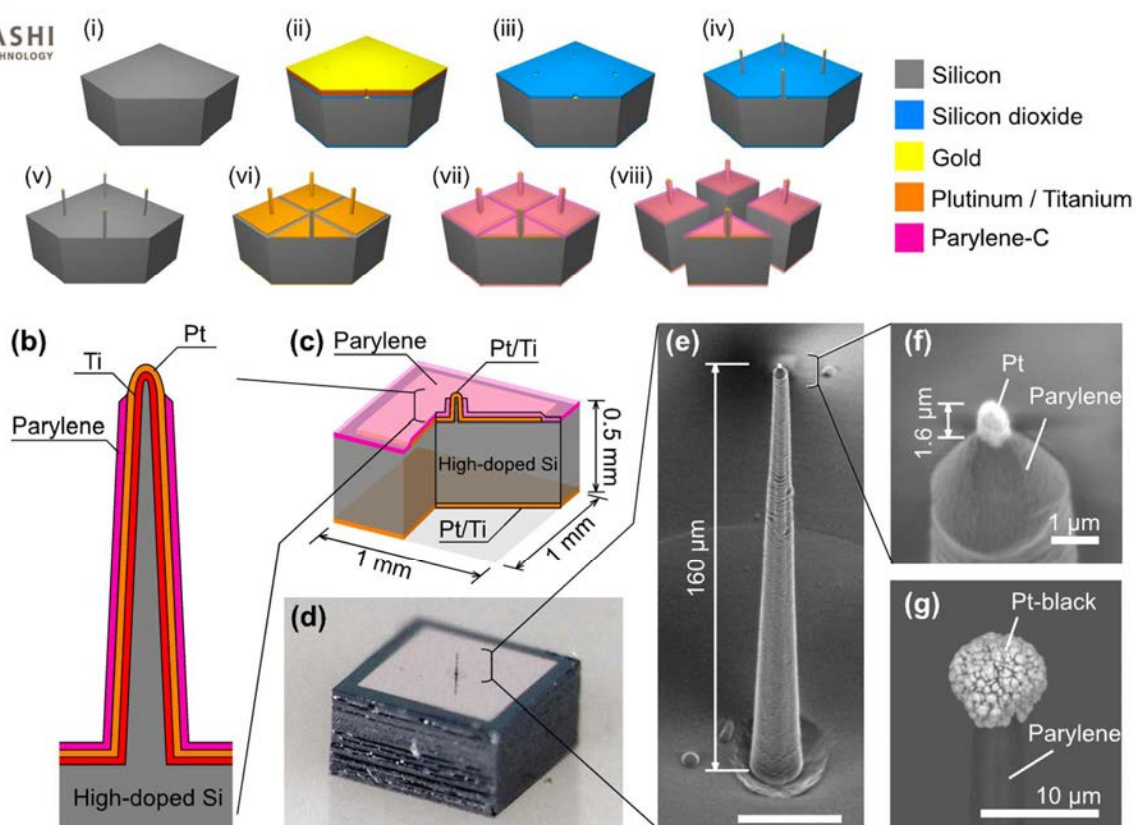
電極直径5マイクロメートル
低い侵襲性による神経計測



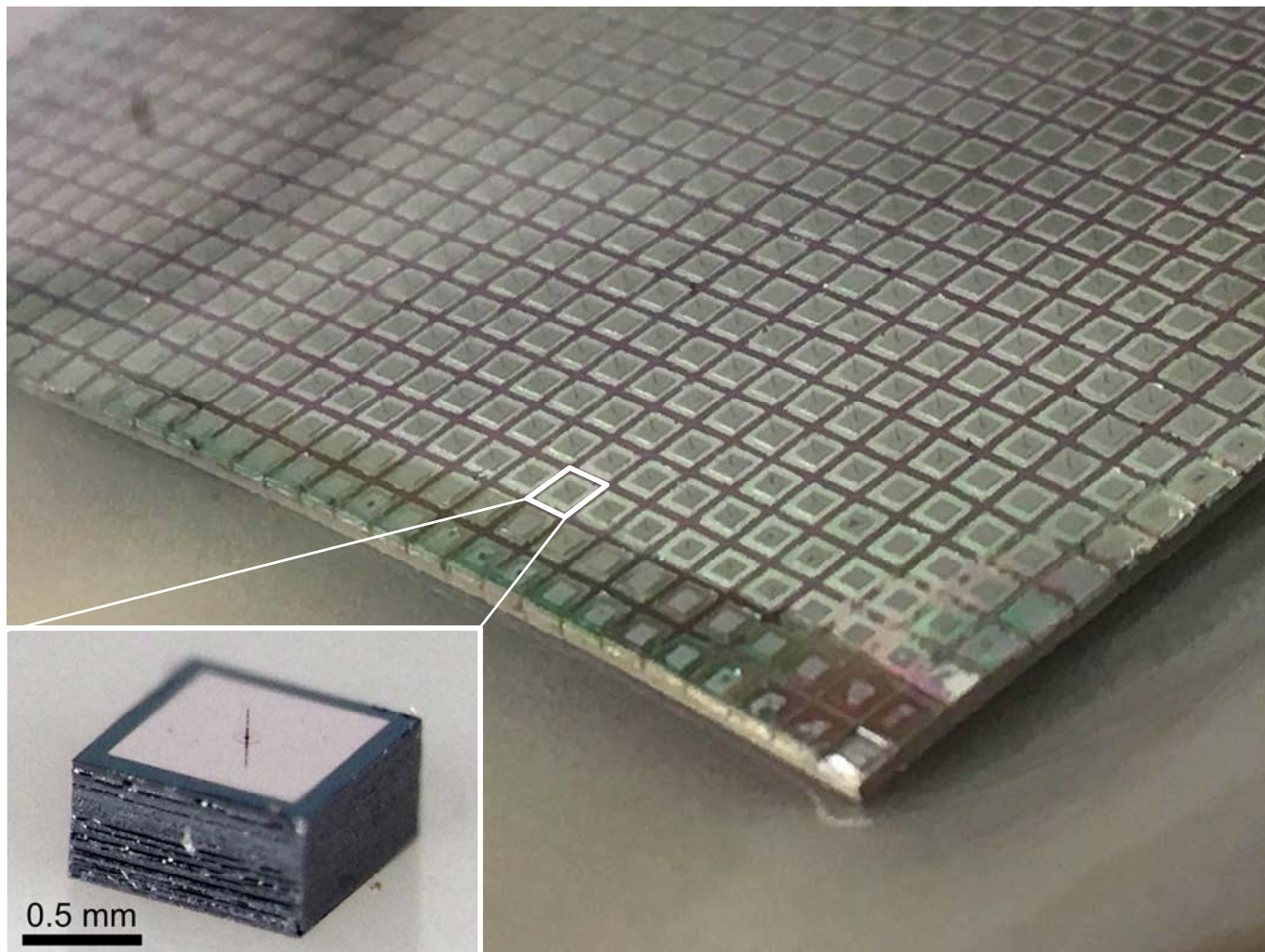


豊橋プローブの作り方

2016年6月14日

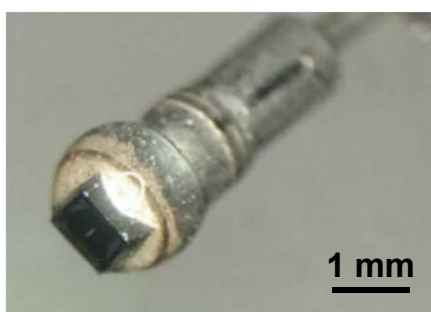
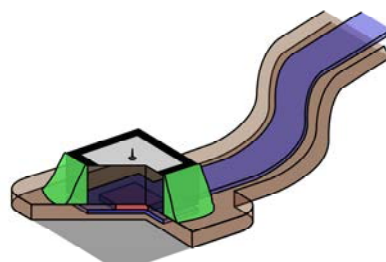
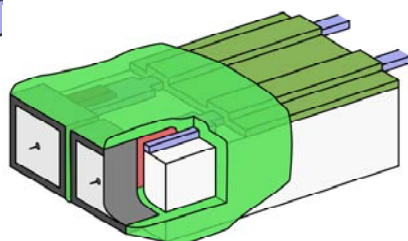
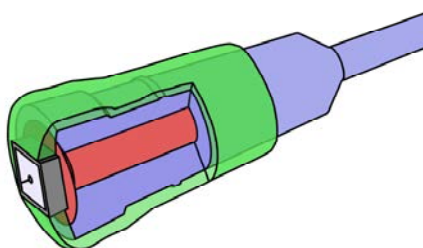


H. Sawahata, *et al.*, in preparation (2015)

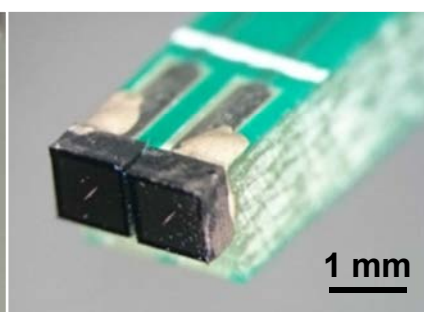


パッケージング

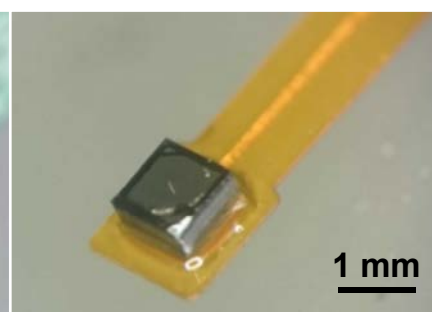
計測用途に合わせた電極パッケージング.



ピンパッケージ

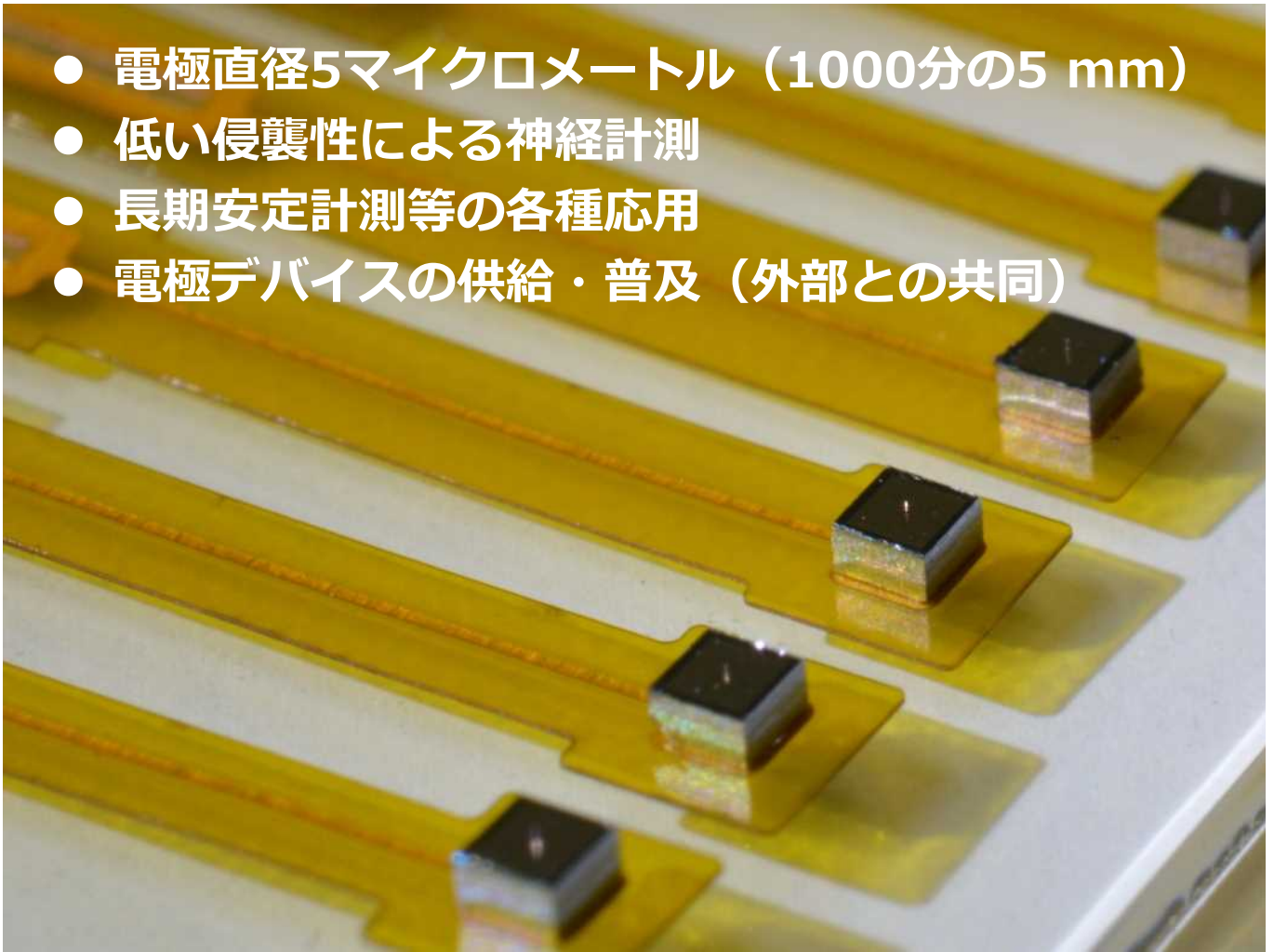


PCBパッケージ

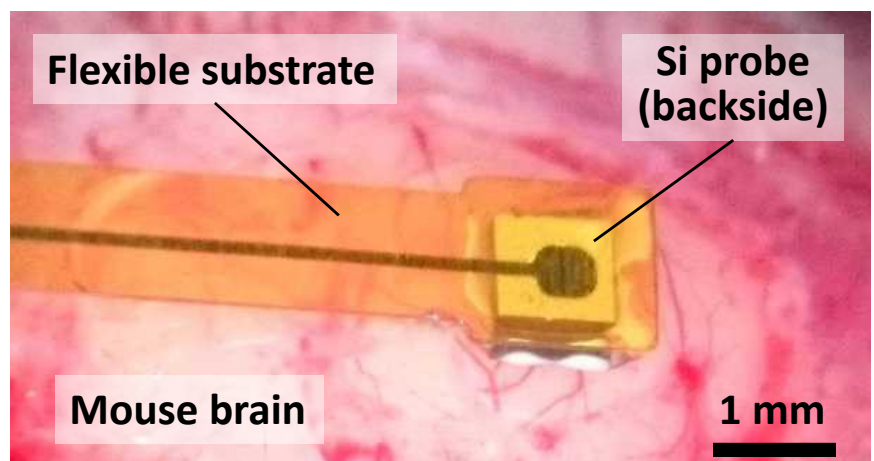
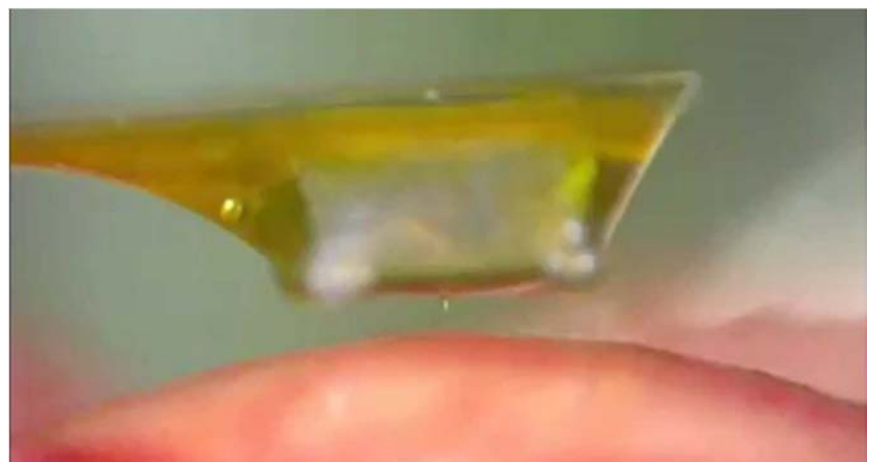
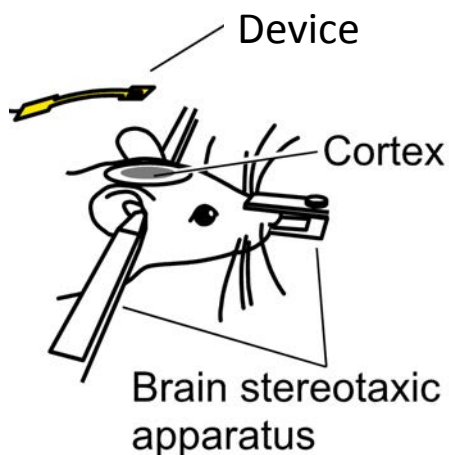


フレキシブル基板

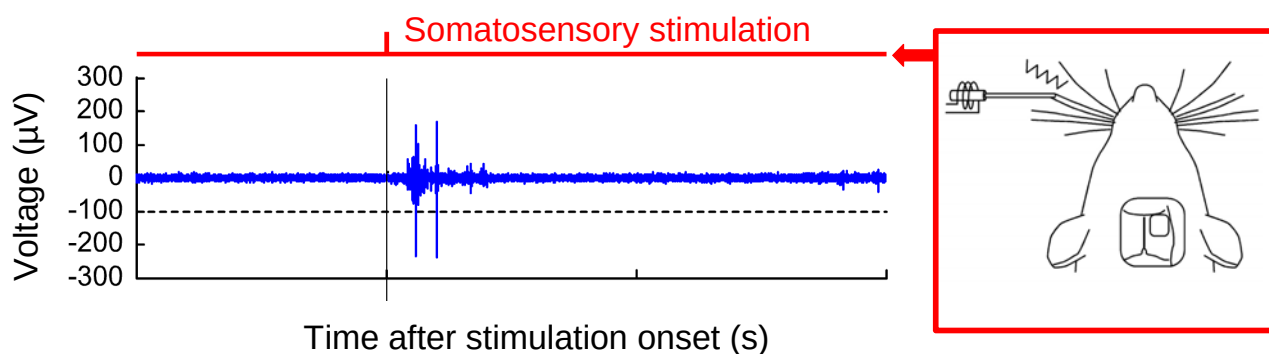
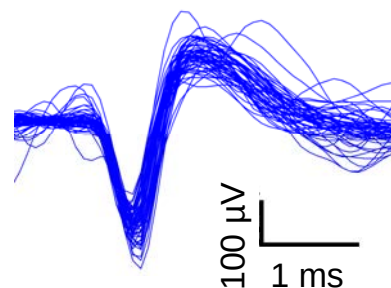
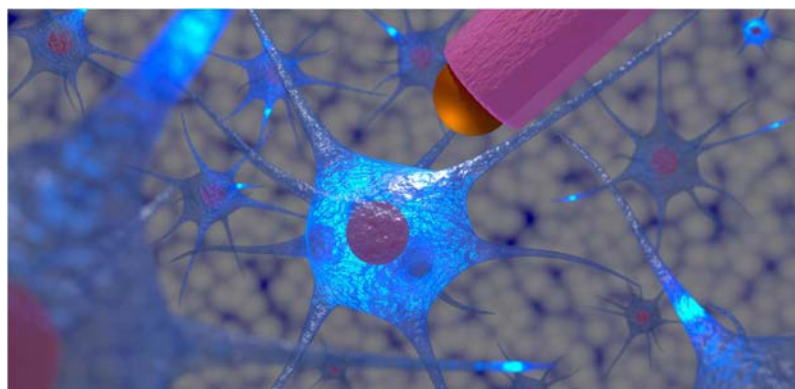
- 電極直径5マイクロメートル（1000分の5 mm）
- 低い侵襲性による神経計測
- 長期安定計測等の各種応用
- 電極デバイスの供給・普及（外部との共同）



神経計測の例



神経計測の例



H. Sawahata, *et al.*, in preparation

学会情報



第39回 日本神経科学大会

The 39th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

脳と心、すこやかに

日時 | 2016年7月20日(水)～22日(金)

会場 | パシフィコ横浜 大会長 | 入来 篤史 (理化学研究所脳科学総合研究センター)

第39回日本神経科学大会

場所 パシフィコ横浜

日時 2016年7月20日～22日

脳科学最大の国内学会 (参加見込み 3,500人)

展示ブース, ワークショップ情報

- “豊橋プローブ”の各種電極デバイスを展示します。

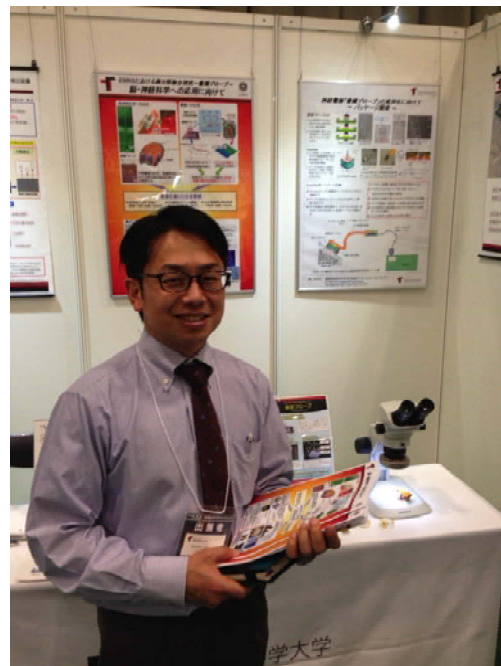
日時 7月20日～22日

場所 パシフィコ横浜展示ホール

- 学会会場を貸し切って外部供給用の電極のレクチャー・ワークショップを開催します。

日時 7月22日(最終日)

場所 会議センター 411



お問い合わせ先

河野 剛士

豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 准教授

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL:(0532)-44-6738 / FAX:(0532)-44-6757

Email: kawano@ee.tut.ac.jp

鯉田 孝和

豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所
、情報・知能工学系 准教授

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL:(0532)-44-1309 / FAX:(0532)-44-1309

Email: koida@eiilis.tut.ac.jp

KOKORODORU

ISSYUNN

第12回豊橋技術科学大学

武道部 演武会

平成28年7/9^土開催

◆会場=豊橋市民文化会館 豊橋市向山大池町20-1

◆入場無料 ◎開場=12:30 ◎開演=13:00

【演武内容】

- 剛柔流空手道/型、約束組手など
- 古武道/杖、トンファー、ヌンチャク、サイなど
- お楽しみ企画/プロジェクションマッピングを使用した寸劇

【招待演武】

◆佐原邦夫先生
(愛知県剣道連盟居合道委員 豊橋市剣道連盟
常任理事 居合道教士7段 剣道錬士7段)



佐原邦夫先生

◆後援=豊橋市、豊橋市教育委員会、公益財団法人 豊橋文化振興財団、
中日新聞社、NHK豊橋支局、エフエム豊橋、
豊橋ケーブルネットワーク(株)(ティーズ)、豊橋商工会議所

◆お問い合わせ=豊橋技術科学大学武道部演武会実行委員長

山室光司 TEL080-1556-1461

[E-mail] budoubu.enbukai@gmail.com

[Facebook] https://ja-jp.facebook.com/budoubu.enbukai

[武道部HP] http://budoubu.housun.jp/



◆交通手段=豊鉄バス、岩田団地線・西口線
豊村岩崎線 台町バス停下車徒歩3分 ◎駐車場/88台